

一般社団法人 日本医療機器学会
2025年度 第3回理事会 議事録

日 時：2025年12月18日（木）15:00～17:00

場 所：医科器械会館 2階 セミナーホール（東京都文京区本郷3-39-15）

（会場+webの併用開催）

出席者：深柄 和彦理事長、根本 裕司副理事長、

青木 郁香、市橋 友子、植竹 茂、臼杵 尚志、江島 豊、加藤 伸彦、
久保田 英雄、斎藤 浩一、島田 正司、住谷 昌彦、高階 雅紀、中島 章夫、
中野 壮陸、長瀬 清、林 正晃、本田 宏志、松原 一郎、南 正人、
美代 賢吾、村中 亮太、根木 潤、安原 洋、の各理事

新 秀直、青木 健雄の両監事

欠席者：東 竜一郎（委任状）

事務局：岩田 誠、池野谷 崇臣、寺嶋 秀之、大石 綾子

1. 開会宣言、前回議事録の確認と議事録署名人の指名

冒頭、理事長が慣例に従い、議長として開会（会場・Web併用会議）を宣した。

- 1) 定足数と出席理事の確認：定款第36条により理事25名の内過半数の24名が出席し、本理事会は有効に成立する旨の報告があった。
- 2) 2025年度第2回（2025年7月24日開催）理事会議事録についての内容確認があり、出席者全員により確認された。
- 3) 本会の議事録署名人は定款第37条により理事長及び本日出席の新監事、青木監事を指名する旨の報告があり、出席者全員により確認された。

2. 2026・2027年度代議員選挙の結果について（根本選挙管理委員長・副理事長）

選挙管理委員長より、2025年度第3回理事会議案資料（以下、「資料」）に基づき、2026・2027年度の代議員選挙結果について、S系80名、C系40名、合計120名の立候補者が定数内（150名上限）で全員当選（無投票当選）したことが報告され、出席者全員これを了承した。

3. 委員会報告

1) 総務委員会（根本委員長）

(1) 会員数推移（入会者の承認・退会者の確認）

委員長より、資料（名簿別添）に基づき会員数の推移について報告があり、本日現在の会員数は、名誉会員9名、功労会員1名、正社員5,892名、企業会員280社、前年同期比で名誉会員、功労会員、増減無し、正会員20名減少、企業会員2名減少した旨の報告があり、出席者全員これを承認した。

(2) 個人正会員の入会について（推薦者無し、個人承認分）

委員長より、推薦者無し新規個人正会員1名の入会申込みがあり、審議した結果、個人

正会員としての入会を出席者全員で承認した。

(3) 協賛・後援・共催依頼先(承諾先の確認)

協賛・後援・共催依頼実績は、資料に基づき、協賛依頼 3 件、後援依頼 7 件、共催依頼 0 件と報告され既存実績先 10 件・新規 0 件について出席者全員これを追認した。

(4) 研究・開発助成制度の募集及び選考委員会の委嘱(承認)

委員長より資料に基づき、研究・開発助成制度の募集(第 95 巻 6 号に掲載)及び選考委員会を学術委員会へ委嘱することを出席者全員異議なくこれを承認した。また、研究・開発助成に関する金額見直しについては、学術委員会で草案を検討・作成し次年度の理事会で審議する。

(5) 褒賞規程に基づく功績賞・技術賞・技術奨励賞の募集について

委員長より資料に基づき、功績賞・技術賞・技術奨励賞の募集(第 95 巻 6 号に掲載)について説明があった。功績賞は総務委員会へ、技術賞・技術奨励賞は学術委員会へ委嘱することを出席者全員異議なくこれを承認した。

(6) 褒賞規程に基づく論文賞・著述賞の委嘱

委員長より資料に基づき、論文賞・著述賞の選考委員会を編集委員会へ委嘱することを出席者一同異議なくこれを承認した。

2) 編集委員会(住谷委員長)

(1) 2025 年度論文賞の選考および著述賞の募集・選考について

委員長より資料に基づき、2025 年度論文賞の選考については選考委員会で候補者を絞り選考していくこと、著述賞の募集・選考については推薦依頼を促すよう依頼がなされた。

3) 学術委員会(安原委員長)

(1) 安全対策委員会(南委員長)

2026 年 2 月 28 日(土)に第 23 回医療機器安全対策研究会を名古屋市で開催する旨の報告がなされた。

(2) クリニカルエンジニアリング委員会(加藤委員長)

委員長より、2025 年 11 月 1 日(土)に 2025 年度第 2 回クリニカルエンジニアリング研究会が開催され、また、第 3 回については 2026 年 3 月実施を検討している旨の報告がなされた。

【臨床 ME 専門認定士合同認定委員会】

特になし。

(3) 機器と感染カンファレンス委員会(長瀬委員長)

委員長より、2026 年 3 月 14 日(土)に福井市で第 39 回機器と感染カンファレンスを開催、第 40 回については 2026 年 8 月 22 日(土)に弘前大学で開催予定との報告がなされた。

(4) 病院サプライ研究会(久保田委員長)

委員長より、第 29 回病院サプライカンファレンスを 2025 年 11 月 8 日(土)に仙台市にて開催(Web と併用)した旨の報告がなされた。節目となる第 30 回については、東京(Web 無し)での開催を予定している旨の報告がなされた。

4) 利益相反委員会(安原委員長)

(1) COI 自己申告書(2025年1月～12月)提出依頼

事務局より、COI 自己申告書の提出依頼を2026年1月下旬目途に依頼する旨の報告がなされた。

5) 滅菌技士認定委員会(高階委員長)

(1) 2025年度第26回第2種滅菌技士認定講習会・第23回第1種滅菌技師認定学科講習会
委員長より資料に基づき、第2種滅菌技師認定講習会を2025年11月29日(土)に横浜にて現地開催、11月6日(土)～11月20日(木)にWebにて開催、また第1種滅菌技師認定学科講習会を11月28日(金)～29日(土)に横浜にて開催、第2種は昨年と同等、第1種は前年比11%増の結果となった旨報告がなされた。

(2) ケミカルトラブル安全対策WGメンバー選定について

委員長より資料に基づき、プロセスケミカルズ安全推進WG委員が紹介され活動委員が出席者一同承認された。この活動は、近年の病院内でのケミカルトラブルが発生している状況を踏まえ今出来る対策や将来すべき課題を提言するもので、既に資料収集等の活動を実施しており、今後は学会大会でのWG報告や論文化する予定である旨報告がなされた。

(3) WFHSS 参加報告

WFHSSが香港で2025年12月3日(水)～12月6日(土)開催され、概略報告がなされた(詳細は次回理事会にて行う)。次回は2026年10月21日(水)～10月24日(土)にセルビアで開催、2027年はタイで開催されることが決定され、2028年は欧州のどこかの国で開催予定である旨報告がなされた。

6) 広報委員会(中島委員長)

(1) 2025・2026年度広報委員会委員について

委員長より、前回の理事会で2025・2026年度広報委員会委員メンバーが承認されたが、1名委員の辞退があり改めて委員会委員のメンバーの承認依頼があり、出席者一同これを承認した。

7) 国際委員会(美代委員長)

委員長より、AAMI2026開催については2026年5月29日(金)～6月1日(月)(米国コロラド州)に開催予定で、5月31日(日)にはJSMI/AAMIとするティーパーティーを開催、共同セッションについても現在AAMI側と調整を進めている旨の報告がなされた。

【ISO/TC198 国内対策委員会】(高階委員長)

特になし。

8) 医療機器UDI標準化委員会(酒井委員長代理 美代副委員長)

美代副委員長より、2025年9月19日(金)に委員会を開催した旨報告がなされた。

9) MDIC 認定委員会(臼杵委員長)

(1) 2025年度第1回MDIC認定委員会報告

委員長より資料に基づき、過去の検定試験の解答からMDIC認定者として知識や必要な情報を調べる手段、筋道を知っていることが大切であるという観点からMDIC検定試験の開催方法変更について説明がなされた。印刷費コストアップによるMDICテキストの価格の見直しやホームページ上でのMDIC検定試験過去問題公開、またMDIC認定者名簿

公開についても 2026 年 4 月を目途に準備を進めている旨報告がなされた。

(2) 2025・2026 年度 MDIC 認定委員会委員について

委員長より資料に基づき、2025・2026 年度 MDIC 認定委員メンバーの変更について承認依頼があり、出席者一同これを承認した。

10) 事業体部会(林部会長)

部会長より、新理事や代議員も含め新体制で進めて行くことや、第 101 回学会大会での事業体部会としての活動状況についても説明がなされた。

11) 関係団体

(1) (一財)日本医科器械資料保存協会(事務局)

特になし。

(2) 日本医学会/日本医学会連合(深柄理事長)

① 評議員 (担当 深柄理事長)

② 連絡委員 (担当 南理事)

③ 用語委員 (担当 住谷理事)

④ 用語代委員(担当 谷口委員)

特になし。

(3) (公社)日本臨床検査標準協議会 理事(矢富理事代理 深柄理事長)

特になし。

(4) (公財)医療機器センター 理事(深柄理事長)

特になし。

12) 財務委員会(松原委員長)

(1) 2025 年 4 月 1 日～9 月 30 日の収支および予算状況

委員長より資料に基づき、2025 年 4 月から 9 月までの収支状況と 2025 年度予算対比について報告がなされた。

13) 倫理委員会(山浦委員長代理 島田副委員長)

特になし。

14) 滅菌管理業務検討委員会(久保田委員長)

委員長より、施設評価ツールの改訂作業を進めており改定した Ver. 1.2 がまもなくアップされること、また教育ツールの普及活動を行っている旨の報告がなされた。

15) 医療機器学(仮称)出版準備 WG(水谷委員長代理 中島委員)

特になし。

16) 産学連携推進委員会(江島委員長)

委員長より資料に基づき説明があり、委員会の目的(1. 理事長が掲げた長期目標の推進・達成 2. 本学会員の利益になる産学連携のあり方と連携の仕組み作り 3. 本学会だからできる産学連携の推進)、2025～2026 年度事業計画(案)、2027 年度以降(案)の活動、シーズ支援について報告がなされた。

17) 災害対策委員会(長瀬委員長)

(1) 2025 年度活動報告

委員長より、本委員会の活動目的として、災害医療における日本医療機関のロジステ

ィックスにおける現状の課題、医療物流の現状調査を掲げ、2025年7・8・9月の準備会議を経て、10月以降医器販協と協働で毎月委員会を開催していること、学会誌10月号に論文を掲載したこと、および現状の問題点についての報告がなされた。

(2) 大災害時の医療物流支援システムの構築について(案)

委員長より、国立大学材料部長会議で東大として提案された資料の中に、本会の災害対策委員会の活動・役割を紹介した資料として報告がなされた。

18) 将来構想委員会(深柄委員長)

(1) 日本医療機器学会将来ビジョン(案)について

委員長より、1. イノベーションと強靱化(新規医療機器・システムの開発、サプライチェーンの確立) 2. 質・サービスの向上、会員サービスの充実について本学会の役割・概要について説明がなされた。意見として、一部記載の修正、またビジョン詳細について学会の中での共有の重要さや国際的な視点等を含めてはどうか等の意見があり、これらの修正を行うことで、参加者一同これを承認した。

4. 今後の学会大会開催予定について

1) 第100回大会参加登録者数(最終)・収支報告(確定)(事務局)

事務局より、資料に基づき報告があり学術参加者が前回大会より増加したものの大会会場を予定より1会場増やしその諸経費等で学術収支はマイナスとなった。併設展示については盛況であり全体収支についてはプラスとなった報告がなされた。

2) 第101回大会(2026年6月4日～6月6日：幕張メッセ) 本田大会長・事務局)

(1) プログラム準備状況等(本田大会長)

大会長より、大会プログラムセッションがほぼ固まった報告と、収支に関係して外部からの大会活動支援金の申請も積極的に働きかけている旨の報告がなされた。

(2) 大会収支予算(案)について(確認、事務局)

事務局より、大会収支予算(案)について最終的な収支については次回の理事会で承認され予算が確定される旨の報告がなされた。

3) 第102回大会(2027年6月24日～6月26日：パシフィコ横浜)(中島大会長)

中島大会長より、大会テーマについては第101回大会のテーマを参考に検討を進めている旨の報告がなされた。

5. その他

1) 事業報告・事業計画の提出について(事務局)

各委員長・部会長に対し2025年度事業報告(案)および2026年度事業計画(案)を2026年2月6日(金)までに提出するよう依頼(案内メールは2026年1月5日(木)頃送付予定)がなされ、出席者一同これを了承した。

2) 次回以降の理事会および総会の予定

(1) 2025年度第4回理事会開催日時：2026年3月31日(月) 15:00～17:00

場所：医科器械会館2階 セミナーホール

(2) 2026年度第1回理事会開催日時：2026年4月17日(金) 15:00～17:00

場所：医科器械会館2階 セミナーホール

(3) 2026年(2025年度決算)定時総会：2026年6月4日(木) 16:30～17:00

場所：幕張メッセ国際会議場 3 階

6. 閉会宣言（理事長）

その他の議題や質疑応答等がないことを確認し、議長が、17 時 20 分閉会宣言した。

以上

（議事録署名）

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、理事長及び出席監事 2 名がこれに署名する。

2025 年 12 月 18 日

議事録署名人

（深柄 和彦 理事長）

議事録署名人

（新 秀直 監事）

議事録署名人

（青木 健雄 監事）